

## 分野別推進戦略骨子(案)

分野名: フロンティア分野

<p>分野の 状況</p>	<p>フロンティア分野は、宇宙や地球の未踏領域に挑むものであり、その研究開発の成果は裾野の広い波及効果を持ち、長期的な国際競争力の源泉となる。</p> <p>科学面では、天文学、宇宙科学、海洋科学、地球科学等で、世界最高水準の知的資産を集積してきている。</p> <p>宇宙開発は、技術開発面では一部分野で欧米に接近しつつあり、国際競争力（コストと安定したサービス提供能力）獲得に向け全力投球中。</p> <p>宇宙利用は、通信衛星等で国際競争力を持ちつつある。今後、次世代の宇宙利用を開拓する段階。 宇宙産業が基幹産業になるかどうかの分岐点</p> <p>海洋開発は、世界最深の探査能力を保持するなど、世界最高水準にある。その維持と海洋利用の開拓を行っていく段階。</p>
<p>重点化の 考え方</p>	<p>情報通信分野、環境分野、ナノテクノロジー・材料分野、ライフサイエンス分野の研究開発にとって先導的役割が期待されることを基本に据えて判断。</p> <p>安全(セキュリティ)の確保、世界市場の開拓を目指せる技術革新、人類の知的創造への国際貢献と国際的地位の確保、の三つの視点で重点を測る。</p>
<p>重点となるべき領域・項目</p>	<p>○安全(セキュリティ)の確保 衛星による情報収集技術(輸送能力を含む) 高度測位及び探査技術</p> <p>○世界市場の開拓を目指せる技術革新 輸送系の低コスト・高信頼性化技術 衛星系の次世代化技術 海洋資源利用のための技術</p> <p>○人類の知的創造への国際貢献と国際的地位の確保 国民が夢と希望と誇りを抱ける国際プロジェクト 地球環境情報の世界ネットワーク構築</p>

分野名: フロンティア分野

	観 点	領域ないし項目	上段：研究開発目標	
			下段：5年間の研究開発目標	
研究 開 発 目 標	安全（セキュリ ティ）の確保	衛星による情報収集 技術（輸送能力を含 む）	技術の確保と高度化 ----- 衛星の開発・打上げと、運用・情報処理技術・ 利用システムの確立	
			高度測位及び探査技 術	技術の確立 ----- 高精度測位及び探査システム確立のためのシ ステム技術及び要素技術の確立
	世界市場の 開拓を目指 せる技術革 新	輸送系の低コスト・ 高信頼性化技術	技術の確立 ----- ロケットの欧米並のコストと信頼性の獲得 更なる低コスト化輸送システム実現のための 基盤技術の確立	
			衛星系の次世代化技 術	技術の確立 ----- 超高速通信技術の開発・実証 新たな利用系のニーズに対応するモバイル等 の高機能通信・放送・観測・利活用技術の開発 長期運用等による高信頼性の実証
		海洋資源利用のため の技術	技術の確立 ----- メタンハイドレート・海洋微生物等の新たな海 洋資源の利用が可能であるかの見極め	
	人類の知的 創造への国 際貢献と国 際的地位の 確保	国民、とくに次世代 が夢と希望と誇りを 抱ける国際プロ ジェクト	国際プロジェクトの推進 ----- 未来を切り拓く質の高い基礎研究及び萌芽的 な領域で国際的地位と尊敬を獲得する	
			地球環境情報の世界 ネットワーク構築	ネットワークによる国際貢献 ----- 観測情報流通システムの確立
	推 進 方 策	<p>国として総合的な推進ができる宇宙利用・開発の仕組みの再構築。 宇宙産業の基幹産業への成長に必要な官民協力システムの確立と、宇 宙利用マーケットの開拓。</p> <p>他分野との連携による海洋利用の促進。</p> <p>地球環境変動に関する研究成果の社会への還元。</p> <p>基礎研究の計画的推進と人材養成・確保。</p> <p>継続的かつシームレスな情報の獲得・処理・蓄積ができ、世界への発 信ができるシステムの確保。</p> <p>最新の高度情報技術を取り入れた研究開発手法・システムの確立。</p> <p>国際プロジェクトを円滑に推進するための、協力関係の明確化。</p> <p>国民に分かりやすく説明できるインタープリターの育成と広報公聴活 動の活性化。</p> <p>研究開発の効率性を飛躍的向上、特に大きなプロジェクトの効率化。</p>		